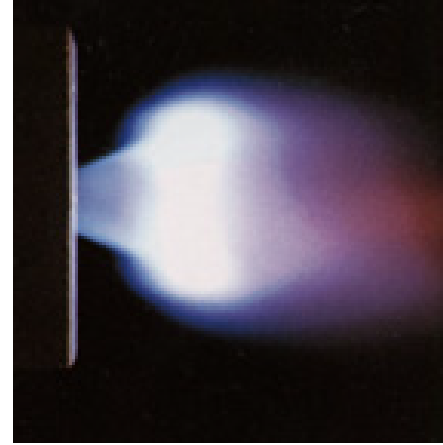


二段燃焼低NOx用バーナ

PAX-200K PAX-400K



1. 特長

- ・ 2段燃焼方式と自己排ガス再循環方式を組み合わせ、火炎中に局部高温域を作らない構造をとっており、燃焼用空気を300~400℃に予熱しても低NOxレベルを保つことができる。

2. おもな用途

- ・ 熱処理炉
- ・ 加熱炉

3. 取扱上の注意点

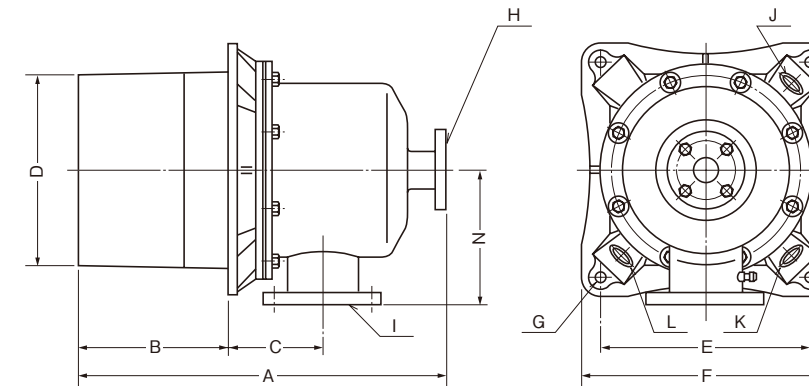
- ・ バーナタイル前面は炉壁内面と同一とし、また火炎が、直接ファイアブリッジなど障害物に接触しない炉構造とする。
- ・ 複数のバーナを使用する時は、各バーナの炎が互いに干渉しないバーナ配置、炉構造とする。
- ・ バーナは横向き、あるいは上向き取付けとする。
- ・ メインバーナのターンダウンは、4：1の範囲で使用する。
- ・ 低NOx性能を確保するためには、時限パイロット方式にくわえてパイロット・エアを遮断すること。
- ・ 炎監視は、紫外線光電管を使用し冷却エアを炉内に流入させない構造とすること。



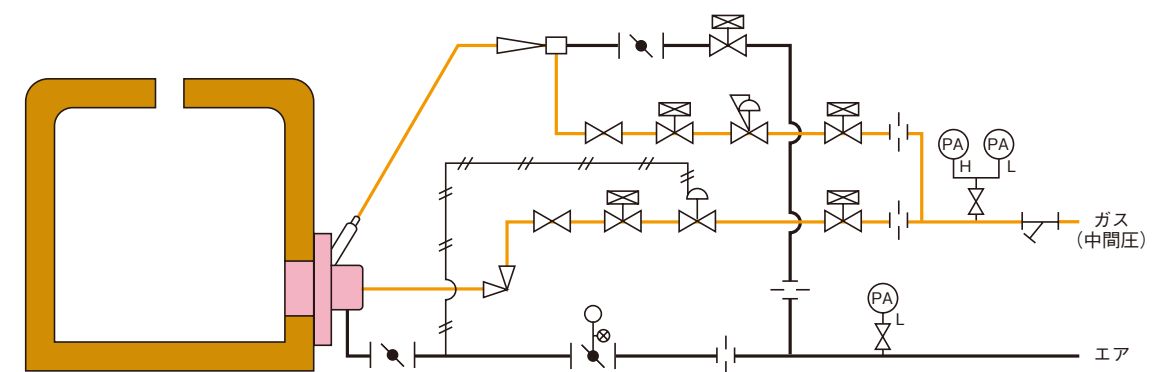
●仕様

器種	PAX-200K	PAX-400K	備考	
適用ガス	13A			
定格燃焼量(kW)	203	406	低位発熱量	
標準ガス量(m ³ /h)	18	36		
標準エア量(m ³ /h)	220	440	m=1.1常温	
標準ガスヘッド圧(kPa)	4.7	6.0		
標準エアヘッド圧(kPa)	2.9	1.6		
外形寸法	A (mm)	532	661	
	B (mm)	230	270	
	C (mm)	152	170	
	D (mm)	270	345	
	E (mm)	□310	□385	
取付寸法	F (mm)	□370	□445	
	G (取付ボルト穴)	4-φ19	4-φ19	
	N (mm)	220	240	
接続径	H (ガス)	32A	40A	JIS 10Kフランジ
	I (エア)	80A	100A	JIS 10Kフランジ
	J (パイロット)	1	1 1/4	Rc
	K (炎監視)	3/4	1	Rc
	L (のぞき窓)	3/4	1	Rc
重量 (kg)	70	120		
ターンダウン	4：1			
点火方式	パイロット 専用パイロットバーナ			
炎検知方式	紫外線光電管			

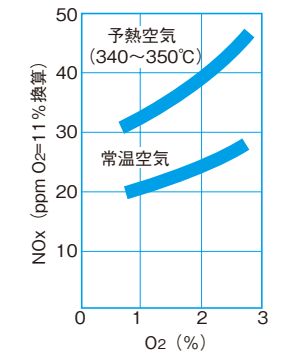
外形図



●フローシート (PAXバーナを使用した加熱炉)



(データ1)
O₂濃度-NOxの関係 (PAX-400K)



(データ2)
炉内温度-NOxの関係 (PAX-400K)

